

会 議 録	
会 議 名	令和6年度第3回丸亀市総合教育会議
開催日時	令和7年1月24日（金）13：30～14：50
開催場所	丸亀市役所3階303・304会議室
出席者	<p>出席委員 松永恭二（市長）、末澤康彦（教育長）、徳永秀文、松岡舟、井下由美、立石陽志（以上敬称略）</p> <p>事務局 市長公室長 栗山佳子 市長公室政策課 課長 真鍋裕章、副課長 藤井慶子</p> <p>市出席者 教育部長 窪田徹也 教育部総務課 課長 土井節子、副課長 後藤幸功 学校教育課 課長 岩井俊明、副課長 西山晋作</p>
議 題	(1)「人づくり石垣プロジェクト」における令和6年度の取組について
傍聴者	0人
発言者	議事の概要及び発言の要旨
真鍋課長	ただ今から令和6年度第3回丸亀市総合教育会議を開会します。本日の協議事項は、「人づくり石垣プロジェクト」における令和6年度の取組について」の1件です。会議の進行につきましては、市長よりお願いいたします。
松永市長	今年度スタートの年となりました「人づくり石垣プロジェクト」について、本日は初年度の実績を通じて、その成果や課題など教育委員の皆さんと意見交換を行いたいと思います。
末澤教育長	今年度から取り組んでいる「人づくり石垣プロジェクト」については、今年度改定の「学校教育方針」にあわせたプロジェクトであり、それぞれの取組項目の現状と、今後の見通しも含めて説明してまいります。個々の取組の目的にも着目し、皆様から忌憚のないご意見を賜りたいと思います。
松永市長	それでは、学校教育課から説明をお願いします。
岩井課長	(資料に基づき説明)
松永市長	ただいま説明いただいた内容について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。
徳永委員	令和6年度の取組実績にある、「学校の楽しさ」や「授業がわかる」などのアンケート結果について、アンケートの実施時期を教えてください。

岩井課長	アンケートは昨年 11 月に実施しました。
徳永委員	<p>「学校が楽しい」という回答率が高いことは、これまで目指して取り組んできた成果として、評価できると思っています。</p> <p>英語教育の充実について、飯山中学校での英語授業の視察を通して、ALT の増員、オンライン英会話授業、イングリッシュデーの開催など、幅広い英語教育が、生徒たちにとって魅力あるものとなり、短期間で成果が出ていると感じられました。その中で、来年度は、オンライン英会話等にも必要なインターネット環境を整えるということは、どのような取組でしょうか。</p>
西山副課長	<p>今年度、オンライン英会話をモデル校として実施している飯山中学校において、1 クラスで一斉にタブレットをインターネットに接続すると、数台はつながらない場合があります。数台分はポケット Wi-Fi に接続し対応しておりました。そこで、今年度、東中学校、南中学校、西中学校で、インターネット回線を 1 回線増設し 2 回線としました。近々、東中学校において、2 回線となった状態で試験的にオンライン英会話を実施し検証する予定です。</p>
徳永委員	<p>英検受験補助金の創設について、CEFR A1(セファール エーワン)相当とありますが、こういった基準でしょうか。</p>
西山副課長	<p>英語能力において、国が設定した中学卒業までに達成する目標の基準として定められているもので、一般的な英語検定でいうと 3 級程度になります。中学卒業時に 60% の生徒が基準を満たすよう示されており、その目標に近づけるよう取り組んでおります。</p>
徳永委員	<p>ICT の活用推進の取組実績に記載のある「ローカルブレイクアウト」とはどのような仕組みのことでしょうか。</p>
西山副課長	<p>生徒の使用する端末でインターネット回線を使用する際に不通となる背景として、一旦サーバーを経由するために、回線が集中し負荷がかかっていることが原因であったため、ローカルブレイク方式というサーバーを経由せず学校から直接インターネット回線へつなぐ方法を採用し、解決を目指しております。インターネット接続の方法は、学校規模に応じて対応することで、スムーズな稼働を目指しております。</p>
徳永委員	<p>インターネット接続の環境は、試行錯誤しながらになると思いますが、各学校が使いやすいような環境を整えていただきたいです。</p>
立石委員	<p>丸亀市の教育は、市民や子どもたちにとって大きな安心の場、成長のある場であり、</p>

<p>松永市長</p>	<p>市長はじめ、教育に関わっていただくたくさんの方に感謝しております。</p> <p>丸亀市も人口が減る中で、地域によっては新築住宅やアパートがたくさん建設されており、丸亀市が魅力のあるまちとして選ばれていると感じます。今年度からスタートした「人づくり石垣プロジェクト」は、学校への大きな変化をもたらし、刺激を与えるものと感じており、教育長のもと市の組織的なサポートにより、着実に進めていただいております。今後も予算面や市のバックアップを継続していただきたいと思います。</p> <p>まず、「人づくり石垣プロジェクト」における予算面については、好調なポートレースの収益を財源とする「次世代育成基金」により、引き続きしっかり取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>末澤教育長</p>	<p>「人づくり石垣プロジェクト」については、具体的に、学力や自己肯定感の向上、不登校への対応などがありますが、数値的なデータで表される成果以外のものも含めて、こどもたちや先生方が生き生きと学校生活を過ごしていけることを目指し、その成果として今後こどもの姿を通じて示すことができたらいいと考えています。</p> <p>取組については常に目的を意識して、必要、不必要の判断を行いながら、引き続き取り組んでまいります。</p>
<p>松岡委員</p>	<p>取組項目に「学力づくり」とあると、学力の向上と捉われがちですが、学力などの数字で表されるもの以外のところに、取組そのものの本題があり、こどもや先生が安定して学校生活を送れるよう、必要な人員、環境を整えてくださっているということが、広い意味での学力づくりを意味し、実際に少しずつ結果が出てきていると思いました。</p> <p>英語教育については、中学卒業時に60%の生徒が3級程度を取得する目標は、意外にハードルが高いと思いましたが、それを目標に英語教科を結構頑張らないといけないという意識や意欲が上がってくると思えました。また、このプロジェクトにより、こどもたちにも、英語に触れる機会が増え、また積極的に学ぶ雰囲気を感じられます。</p> <p>ロイロノートについては、こどもたちが難なく使用しており、学校で普段の道具として使っているおかげで、非常に効率がいいと思えましたので、学校によってとか、先生によってという使用頻度の差がないよう努力されて慣れていると感じました。</p>
<p>末澤教育長</p>	<p>ロイロノートについては、使い勝手がいいので利用回数が増えるほど、習熟していくと考えています。学びを深めるための道具として、学校や教員によって利用頻度の差があることについては、来年度に向けて、研修の機会の拡大など引き続き利用の促進を図ってまいります。</p> <p>「人づくり石垣プロジェクト」の柱として、「日々の授業の充実に努め、学ぶ楽しさや、わかる、できる、伸びる喜びにより、学ぶ意欲と自分への信頼、学びへの信頼を育む」ということが狙いですので、例えば英語教育の充実に目的は、テストの点が上がったという結果以上に、学びへの意欲と自分への信頼などを得られる機会を作る場</p>

<p>井下委員</p>	<p>が提供できるよう多様な取組を行っています。よって、教育委員会や学校を挙げて、常に目的を見据えた取組としていただきたいと思います。</p> <p>取組が先生方のプレッシャーになると逆効果になりますので、好評であったという「事業づくりサポート事業」は、若い先生方の研修や相互交流の場となり大切な取組だと思います。先生は、日々の授業や業務が忙しい中でも、研修や交流の機会としてたくさん参加されたとのことですので、そこで出てきた要望や具体的な声がありましたらお聞きしたいと思います。</p> <p>もう1点、小学校低学年や幼児教育・保育での外国語体験を実施するために、市内幼稚園、こども園、保育所にALTを派遣したという取組で、希望校への訪問実績数の掲載がありますが、その他の学校などは、希望がなかったのか、日程的が合わずに行けなかったのかという点と、今後も希望校のみでなく全施設に実施するという方向性があるかお伺いしたいです。</p>
<p>末澤教育長</p>	<p>教員不足や業務量の増加などで、研修への参加の機会が減るような状況にあると思いますが、いいものを見る研修は非常に大事であり、刺激を受ける機会として若手の教員が積極的に参加し、意識の醸成を図ってまいりたいです。</p>
<p>岩井課長</p>	<p>小学校低学年等へのALTの派遣については、今年度は希望校全てについて実施することができました。ALTの指導力により、大変好評でしたので、令和7年度は希望が増える可能性があります。ただ、ALTは中学校に在籍し、小・中学校での指導が主な業務となりますので、例えば中学校のテスト期間などを活用し、希望校と調整していきたいと考えています。</p>
<p>松永市長</p>	<p>取組が初年度となる「人づくり石垣プロジェクト」への、保護者間の認知度や理解度をお聞きしたいです。</p>
<p>井下委員</p>	<p>私は、保護者として耳にする機会がありますが、具体的な取組や進捗の度合いなどは、伝わってないという気がします。SNS等での手軽なツールで発信していただくと、保護者が知る機会が増えると思います。</p>
<p>末澤教育長</p>	<p>広報まるがめ3月号からコーナーを設け、「人づくり石垣プロジェクト」の取組を定期的に紹介する予定です。あわせて、学校現場の楽しさや素晴らしさも市内外に発信していきたいと考えており、特に保護者の方に向けても、狙いと具体的な取組を丁寧に説明していくべきであると考えております。</p>
<p>松永市長</p>	<p>多様な方法により情報の発信をし、保護者の方々のご理解をいただきたいと思います。</p>

徳永委員	今後チーム担任制は、学校現場にとって大きな改革になると思います。現段階で、来年度、導入してみようという学校がありますか。
末澤教育長	チーム担任制は、集団でみんなを教え、指導し、教育に責任を持つということが目的で、すでに、教員がクラスや学年を超えて実施している学校もあります。全国的な導入実績や先進事例などを研究しながら、進めていきたいと考えております。
徳永委員	こどもにとっては、メリットが多く評価できるが、教師にとって資質を育てるという意味や導入後の進め方については、課題や懸念があると思います。今後、校長の判断でフレキシブルに対応できるのでしょうか。
末澤教育長	導入が必須ではなく、各学校の課題解決につながるのであれば、時期、学年等、可能かつ有効な範囲で取り組むよう校長に指示しております。
立石委員	不登校については、中学校に校内サポートルームを設置し、支援員1名が配置されうまく運営されていますが、他にも学校の中でこどもの居場所があると思うので、今後図書室などの活用が増えていくといいと思います。また、「友遊」も非常にいい場所として利用されておりますが、可能であれば、今後、丸亀市南部にも設置してほしいと思いました。 あと、国の制度で難しいと思いますが、市内にも発達支援センターが複数ある中で、制度の問題で利用できないケースもありますが、こどもの居場所を探している保護者からすると、そのような機関も含めもう少し受け皿を広げてほしいと感じていると思います。
教育部長	こどもの居場所づくりについては、現状では、青い鳥教室や放課後こども教室、放課後デイサービスなどがありますが、今後も教育部局と健康福祉部で連携し、国の制度などを活用しながら進めていきたいと考えております。
松永市長	ほかに質問がないようですので、最後に、事務局から報告をお願いします。
真鍋課長	特にありません。
松永市長	本日は、いろんな意見を聞かせていただきありがとうございました。 以上を持ちまして、本日の会議を終了いたします。
	(会議終了)